



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当:上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-526-5111 (内線1406) FAX.025-526-6114

ホームページ⇒

ふるさと上越



板倉区久々野 撮影：松本栄規さん

「たより」No.269 目次

会員数とふるさと市場報告	1
Jネットの活動とお知らせ	2
・5月サロン（リモート）開催	
・上越妙高エリア情報の動画配信（会員限定）	
とれたて上越	4
・上越の行事・展示会の予定	
令和3年「高田城址公園観桜会」（報告）	
・上越の話題	
雪室「ユキノハコ」の誕生、えちご押しひすい海岸駅開業	
国内最大級「マクドナルド」登場	
写真集「雁木散策（令和2年度版）」の発刊と配布	
上越カフェ巡り（その1）	
チャレンジ上越	6
・フルサトで始めたフルサットの話（その1）	
北信越地域資源研究所 代表取締役 平原 匡氏	6
上越産品販売のお知らせ	8
鯉橋師匠高座予定	8
Jネットからのお知らせとお願い	8

※ホームページ「ふるさと上越ネットワーク」（2020年4月改定）では、「たより」を全ページカラーでご覧いただけます。

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は現在 600 名です。(令和3年度目標 610 名)

(2) 「ふるさと市場」(3月合計)の販売状況 107点 ¥163,884 (前年同期 40点 ¥69,746)

コロナ禍が続いていますが、当会は、会員の皆様のご尽力を得て、なんとか、当会目的である上越の応援と会員の懇親交流に努めてまいります。

1. 令和3年5月のサロン

ー リモートで開催（どの地域からも参加できます）。ぜひご参加ください。

サロンも昨年2月の東京サロン以降開催されておらず、会員同士が会う機会がありませんでした。そのため、リアルの集まりは無理としても、会員の皆様向けにリモートによるサロンを開催いたします。地域を問わず、また、リモートへの慣れ不慣れに関係なく、ご参加いただければ、幸いです。

但し、会員全員がリモート会合機能を備えているわけではありませんので、このサロンは、当会公式のものではなく、有志によるサロンです。

日時：令和3年5月13日（木）17：30－19：00

内容：ZOOMを利用したオンライン会合。近況、消息、趣味などの情報交換。一言発言の機会あり。

途中参加や中座も自由。飲食も自由。

参加者数：100名まで（ZOOM機能による）

参加方法：PCやスマホなどでご参加ください。事前に操作方法などをご案内します。

参加ご希望の方は、事務局宮里までメールにてお申込みください。URLをお届けします。

申込先→ k.miyazato@araipt.co.jp

なお、皆様のメールアドレスの使用は、本件限定として、本件終了後は破棄いたします。

2. 令和3年度年次総会ならびに文化講演会

令和3年度年次総会ならびに講演会は、5月22日（土）に予定しておりましたが、コロナ禍のため、下記にて変更いたします。

・令和3年度年次総会：書面開催とし、たより6月10日号配布時に、総会資料と表決票を同封、会員の皆様のご決議を仰ぎます。

・文化講演会：東京オリパラ開催に向け、時宜を得た講演です。

オンラインにより開催します。

（申し込みについては、たより6月10日号にて詳細を記載）

開催日：令和3年7月8日（木）17：00－19：00

演 題：オリンピック・パラリンピック運動とは？

講 師：瀧澤康二氏 国際体操連盟名誉副会長。東京板倉会名誉会長。

日本体育大学同窓会前会長。当会会員。

3. 上越地域（上越妙高エリア）情報の動画配信を開始（会員限定）。

上越ケーブルビジョン社（JCV）様のご好意により、本年4月下旬より、当会HPを通じて、上越地域（上越妙高エリア）についての下記の動画サービスの提供が始まりました。

現行の上越タイムズ電子版閲覧とともに、当会会員限定の特典です。

(1) 視聴できる動画サービス

JCV社が加入者に提供している「上越妙高タウン情報プレミアムサービス（動画）」の提供を受けます。

- ① 見逃し番組（過去1週間分の上越妙高エリアのローカルニュース）閲覧。
- ② 上越エリアのライブカメラ約40台のリアルタイム閲覧。
- ③ イベントなどのライブ配信。上越地域の「花鳥風月」など動画配信。

(2) 視聴にあたっての留意事項

- ① 閲覧者は当会会員に限定し、2年程度の期間限定のモニター提供です。
- ② 適宜、アンケート調査があります。

なお、ログイン画面と動画説明画面を当会HP内に設定します。具体的な視聴方法は、次の4. ホームページ（HP）の欄をご覧ください。

4. ホームページ（HP）

— 会員は、上越タイムス電子版に加えて、
上越妙高エリア情報の動画もご覧いただけるようになりました。 —

JネットHPは、上越のカラフルで大きな写真18枚、当会からのお知らせや「たより」、関連サイトへのリンクなどが見やすく好評です。

ぜひとも、ネットにて、「ふるさと上越ネットワーク」、または <https://joetsu.gr.jp/> を検索して、ご覧ください。

(1) 上越タイムス電子版へのアクセス

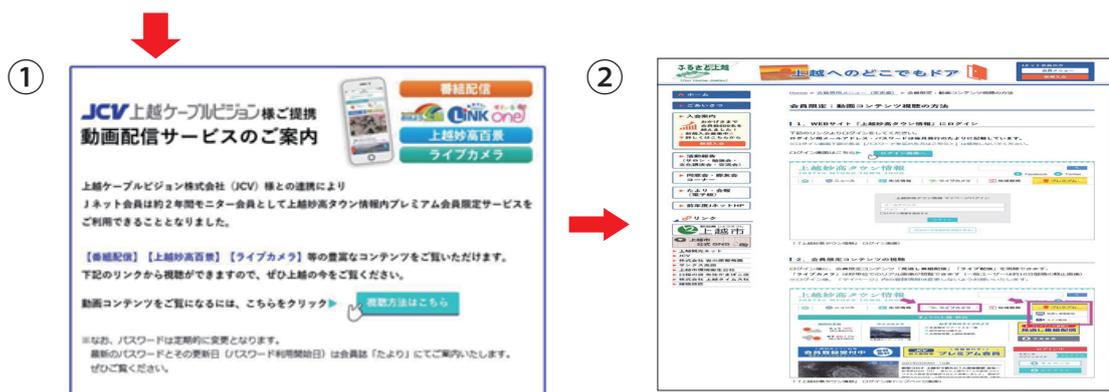
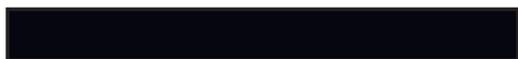
- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックしHPへ
- ③ 下記のID・PSWにてログインしてください

2021.4.30まで → 2021.5.1より



(2) 上越ケーブルビジョン動画へのアクセス

- ① HP右肩「Jネット会会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックしHPへ
- ③ 下記のID・PSWにてログインしてください



1. 上越の行事・展示会の予定

(1) 第22回高田城ロードレース大会(6月6日)は中止。

高田城ロードレース大会(上越スポーツ協会主催)は、謙信公・松平忠輝公の城下町を歴史とロマンを楽しみながら走るロードレースです。ランナーも全国から参加、上越市の名物行事ですが、コロナ禍のため昨年に続いて、本年も中止となりました。

(2) 令和3年「高田城址公園観桜会」(報告)

日本三大夜桜を誇る高田城址公園観桜会は、4月1-15日に開催されました。豪雪の後とは信じられないほど、春の訪れが早く、初日には満開。

4月3-4日の週末は、賑わいましたが、コロナ禍の影響で、イベントや飲食を伴う宴会自粛、それに県外からの観光客は少なく、訪問客数は、通常年の130万人に比べ、その3割程度だった模様。



4月1日 小坂恵美さん 撮影



4月4日 小坂恵美さん 撮影

翌週はまた寒くなったが、雨で落ちた花びらで、しっとりとした風情も美しく、趣きがありました。

(小坂恵美 記)

2. 上越の話題

(1) 雪室「ユキノハコ」の誕生

今年3月27日に、安塚区樽田の道の駅「雪のふるさとやすづか」に、新たに「雪室」がオープンしました。(旧施設は火災で焼失)

豪雪で知られる安塚区にはすでに7か所の「雪室」があり、多くは鉄筋、鉄骨、RC構造ですが、新築の「雪室」は、県産の杉材を使用した「木造2階建て」です。

この新築雪室は、延床面積は約432平方メートル、貯雪室には約90tの雪が入り、施設は室温が5度に保たれています。食品貯蔵庫として利用されるほか、その冷気を体験できる見学ブリッジや雪国文化を伝えるパネルを展示した雁木の回廊など、観光対応型の施設ともなっています。

1月、全国に「愛称」を公募、506件もの応募がありました。「雪室」の恵みなどにみる雪国へのロマンが人々の関心をかきたてたのでしょう。

利用予定者ら10人の選考委員会(私もりモートで参加)では、雪蔵、雪ん子蔵、白雪庫、雪の玉手箱…「うみがたり」に対して「ゆきがたり」等々が候補にあがりました。その結果、「ユキノハコ」に決まりました。

この愛称考案者は東京練馬区の女性で「雪室の魅力をかんじられる宝石箱のような場所になるといい」との思いが込められているそうです。

「雪室」は先人の知恵、古くは川上善兵衛さんの岩の原葡萄園の「雪室」が有名です。上越市には「雪室推進プロジェクト」があり、これまで、肉や日本酒、日本茶、コーヒー、雪室野菜など様々な商品をつくりだしていますが、市やJAはこれまで以上に、雪室商品のブランド化を進めています。

北陸新幹線開業時に、一年中、雪に触れる駅として、上越妙高駅に「雪室」設置の提案もあったそうですが、採択されず、今となっては、すこし、残念にも思えます。

「ユキノハコ」〒942-0531 上越市安塚区樽田 158
道の駅・雪のふるさとやすづか

(祖父江ひろみ 記)



新雪室「ユキノハコ」

(2) えちご押上ひすい海岸駅 開業

3月13日、えちごときめき鉄道日本海ひすいラインの糸魚川一楯屋敷間に、待望の新駅「えちご押上ひすい海岸駅」が開業しました。

昭和47年に糸魚川高校が同駅近くに移転して以来、同校へのアクセス改善は課題でした。加えて、同駅のある押上区には、糸魚川市の基幹病院の糸魚川総合病院、県糸魚川地域振興局、それに、ヒスイ海岸、玉翠園・谷村美術館もあり、宅地開発も進んでいることから、新駅設置は地元の悲願でもありました。



えちご押上ひすい海岸駅

(3) 国内最大級「マクドナルド」登場 無印良品に続いて2店舗の「最大」



国内最大級の「マクドナルド」

2月20日、新光町3丁目に、国内最大級の敷地面積をもつ「マクドナルド」上越店が登場。駐車場を含む敷地面積は約4900平方メートル。冬季の配達専用として軽自動車を国内で初めて導入したそうです。ドライブスルーも2レーン設けられ、スムーズなテイクアウトができそうです。

昨年7月の世界最大の売り場面積「無印良品」と並んで、「最大」の出店が続いています。



(4) 写真集「雁木散策（令和2年度版）」の発刊と配布

このたび、越後高田雁木ねっとわーく（会長 高野恒男）より、雁木散策（令和2年度版）が発刊されました。大好評の前年版に続く第2弾です。

同会よりご寄贈いただきましたので、当会会員の皆様には、たより本号に同封してお届けいたします。

雁木の持つ美をお楽しみいただき、お知り合いにもお伝えいただければ幸いです。

3. 上越カフェ巡り（その1）

この数年間に、上越市には、古民家、蔵、町家などを活かして、趣向をこらしたカフェが続々と開店しています。随時、ご紹介していきたいと思います。

① スターバックス上越高田城址公園店

高田城の東南、大手町通りに面した同店は、昨年開店。外装は黒を基調に古城に合わせた佇まいが人目を引く。4月初めには、店内からも美しい桜を眺めることが出来、ロケーションは最高です！若い方が多くて華やいだ雰囲気がいっぱいです。



花見の時期以外でも、公園を訪れたときにちょっとお茶をする場所というのが今までなかったので、他の季節にも喜ばれることでしょう。

上越市 本城町 9-12 営業時間：08:00～22:00 無線LAN：あり

チャレンジ上越

上越の未来に向かってチャレンジする上越人を紹介します

この数年間、ふるさとの上越市では、地域活性化に向けて、新しくチャレンジする動きが増えているように見受けられます。

伝統ある文化、観光、飲食、農業、工芸、他地域との交流、移住、起業など分野はさまざま、テーマもチャレンジする人もいろいろです。その成果は十分現れているとは言えませんが、そのパワーは、上越市の将来への変革にも、少なからぬ影響を与えることと思います。

そうしたチャレンジする代表の一人として、若手の平原匡氏があります。市の玄関口「上越妙高駅」の西口広場に展開するコンテナタウン「フルサット」の代表者です。まさに、徒手空拳で、何もなしゼロから新カルチャー創生にチャレンジしてきました。現実は、厳しくても、夢を追って、状況を切り拓く努力を続けています。

その平原社長からご寄稿いただきました。これから3回にわたって、スタートの経緯、奮闘、夢と展望を語ってまいります。上越の応援団たる当会の会員の一人として、こうした、夢をもった挑戦も応援していきたいと思っています。
(伊藤利彦 記)

フルサットで始めたフルサットの話（その1）

北信越地域資源研究所 代表取締役 平原 匡（ただし）

昨年12月、上越妙高駅西口の「フルサット」内で、「フルサットアップス（UPS）講座」を開講しました。先の見えないコロナ禍の状況でも「新しいことを始めたい人」が集まり、起業のノウハウ、先輩起業家の経験談を聞くことが出来るスタートアップコミュニティの形成を目指し、お陰様で熱意ある皆さんにご参加頂き、アフターコロナへの胎動を感じるスタートとなりました。今後も「フルサット」に集う才能を活かして、継続します。



平原 匡 社長

2016年6月にスタートした「フルサット」はもうすぐ5周年。現在では入居者も増えて、7店舗、4オフィスのコンテナタウンとなっています。

私自身は上越市の生まれで、今はない脇野田駅の近所、昔の「茶屋町」に実家があります。大和小、城西中、高田高卒の「ジモト民」です。東京の大学の建築学科へ行ったのですが、新しい建築より、古い建築が好きだったので、研究のために卒業後は縁あって佐渡で、歴史的建造物に関するNPO活動などに従事しました。

今で言う「地域おこし協力隊」でしょうか？政府が「観光立国」を宣言した頃、そこから地域づくりや今で言う地方創生のテーマに出くわす場面が増え、今に繋がっています。

さて、佐渡島にいた時から、漠然と「新しい場所を作りたい」と思っていました。自分の居場所探しもあったかもしれませんが、これからの先を見越して、人が集まる場所を作りたい。そういうことをイメージしていました。

2015年春の新幹線開業を前に、当時のイメージでは、

「様々な開発の話が出てきて、いわゆる観光や地域活性化に向けた〇〇コミュニティプラザや〇〇ガイドセンターなどが官民連携で立ち上がって、そういう場所が出来る。そんな場所が出来て、そこで働けると良いなあ」と思っていて、自然とその方向になるだろうと流れに期待していました。

しかし、当地では北陸新幹線開業へのカウントダウンはまるで只の日めくりカレンダーのように消化されて行きました。新幹線開業に向けた上記のような空間作りの話の気配はなく、だんだんと時間だけが過ぎて行きそうな焦りみたいなもの、二度とないチャンスなんじゃないか？逃したらもったいないと感じていました。

そうこうしているうちに2014年の新年になり。自分が感じるフルサトでのモヤモヤを払拭すべく前に進めることにしました。

上越妙高駅前に何かを作るのであれば、地域のアイコンとしても珍しい、建築デザインとしても新しい形であることが必要。漠然と、というか、直感的な意識が働いていました。「場所」に意味を与える「建築」や「空間」の存在がとにかく必須だと思っていました。また、建物だけではない新幹線という交通システムによって生まれる「人々の動き」が周囲にも影響してくれると期待しました。

ビルディングを建設することは費用的に出来なくとも、上越妙高駅前に上越妙高や新潟県各地のエッセンスが集まったコンパクトながらユニークな空間を作る。コンテナ (container) にコンテンツ (content) を集めて、駅前に象徴的な空間を作りたいと更地を見ながら思いました。更地ながら「フルサット」という名前を前に出してスタートしたのもそこに意味があり、吸引力に期待しました。新しい物体や空間がもたらす変化が見たかった。フルサトで何か始めることでフルサトの変化が楽しみでした。

直感というものはあったのですが、確実に成功する保証はない。しかし、何事もそんなものだと思いますながら、やるなら今しかない！という気持ちだけでした。もし失敗したら？と考えずに進むことに



コンテナの初号機を置いた様子。2015年夏頃



2015年3月の予定敷地の様子。
新幹線開業は3月14日

しました。全体の構想作りに一緒に取り組んでくれるような建築家中野一敏さん（上越市出身）に相談し、企画を始めました。まずはコンテナを1つ象徴的に置いて、「スタート地点」を設定し、「これからの成長する街」を印象付けることにしました。（つづく）

上越産品販売のお知らせ

- Jネットふるさと市場に「取次販売商品一覧」を同封します。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧（A3版1枚）を同封にてお届けします。会員は送料無料で取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

- 上越特産市場

上越市運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。「上越特産市場 <https://www.joetsu-tokusan.jp/login/input.php>」からご覧いただき、お申込み下さい。

- 「新潟・上越妙高うまさ直送！
雪国マルシェ」

恒例の上越特産品販売の「雪国マルシェ」は、下記にて予定しています。

日時 5月22日(土)、同23日(日)

6月開催日は未定。

会場 有楽町 交通会館1F。

開業時間 11:30 - 17:30

- 常設店舗 「雪国商店」

場所 有楽町交通会館1F。

営業時間 11:00 - 19:00 年中無休
(年末年始は休業) ネットで「雪国商店」を検索してご覧ください。

☆お問い合わせ先: JCV 東京情報センター
03 (5218) 7730

瀧川鯉橋師匠 出演予定

鯉橋: 03-3845-1202

◇ 4/26(月)～30(金) 浅草演芸ホール

・夜の部=鯉橋主任興行=時 間: 午後5時～9時
木戸銭: 3000円 主任: 鯉橋。ほかに桃太郎、松鯉など出演。

お問合せ: 03-3841-6545(浅草演芸ホール)

◇ 5/24(月) 七人の侍-真打勉強会-

時 間: 午後2時～4時半ごろ。木戸銭: 1500円
出 演: 円福、枝太郎、鯉橋「佃祭」、鳳志、こみち
会 場: お江戸両国亭(両国)

◇ 5/27(木) すえひろがりの落語会=我ら日大文理=
時 間: 午後6時～8時ごろ。

木戸銭: 2000円(前売・予約1500円)

出 演: 小柳、鯉橋、遊雀-お仲入り-里光、正二郎、桃之助(出演順) 会 場: お江戸日本橋亭(三越前)
お問合せ: 03-5909-3080(芸協)

◇ 7/3(土) 秋津での落語会、午後2～4時ごろ。詳細未定。

◇ 8/24(火) 鯉橋の会 in 日本橋亭 vol.15

時 間: 午後6時～8時ごろ。

木戸銭: 2000円(前売・予約1500円)

出 演: 鯉橋(二席)、ほか出演者未定。

会 場: お江戸日本橋亭(三越前)

お問合せ: 03-5909-3080(芸協)

すべてのお問合せは、

rik_yoh_taki@taupe.plala.or.jp(鯉橋メール)

または、03-3845-1202(鯉橋)からも承ります。

※状況により中止・延期の可能性もありますので、事前にお問合せくださいませ。

●●●●●●●●●● Jネットからのお知らせとお願い ●●●●●●●●●●

記事、寄稿、投稿、メッセージをお願いします。

Jネットは上越大好き人の集まりで、交流を通じて、上越を応援しています。その情報ツールが、「たより」やHPです。

会員の皆様には、ぜひとも、ご自身の経験や、上越の魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事(1200字程度まで)と写真を送信いただければ幸いです。皆さまの貴重なお話は、読む人を元気にします。

コロナ禍の折、皆様には、くれぐれもご健康にご留意され、お過ごしください。

◎ 次号「たより」は令和3年6月10日の発行です。



板倉区「山のカフェランプ」
松本栄規さん撮影